

- ◆外科体制一新
- ◆新任医師紹介
- ◆甲状腺外来紹介
- ◆内視鏡室紹介
- ◆新入職オリエンテーション
- ◆退院支援看護師紹介
- ◆学術大会、災害医療研修、救急コール
- ◆介護職員初任者研修
- ◆中央会関連施設紹介
- ◆尼中健康講座ほか



編集：尼崎中央病院 広報委員会



## 外科体制一新

当院では、本年4月から兵庫医科大学病院・下部消化管外科の松原長秀教授を、新しい消化器病センター長に迎え、外科の体制が一新されました。



尼崎中央病院消化器病センター長として赴任致しました松原長秀です。外科の体制が変わりましたのでご紹介致します。メンバーは吉田静雄理事長のもと、私と、平岡邦彦外科部長、町田智彦外科医長の4人体制で新たにスタート致しました。私は長年下部消化管外科を専門にやって参りましたが、4月の赴任以降、大腸癌の症例が急増致しております。

手術の多くは腹腔鏡手術で行い、肛門付近の直腸癌に対しても、人工肛門を作らない究極の肛門温存術を心がけております。良性疾患としては、直腸脱等肛門疾患の手術も行っております。その他、胃癌・胆嚢疾患・ソケイヘルニア等の手術が多いのが特徴です。

また消化器内科も、岡 秀男部長を中心に、櫻井 淳先生、浦岡正尚先生、藤村忠弘先生で年間3,000件以上の検査、600件近くの内科手術をこなされております。一つ一つの症例を丁寧にこなしながら、地域の皆さまの医療に貢献して参りますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

# 新任医師紹介



外科

松原長秀 医師

日本外科学会専門医/指導医  
日本消化器外科学会専門医/指導医  
日本臨床外科学会評議員  
日本大腸肛門病学会専門医  
日本内視鏡外科学会 家族性腫瘍学会評議員  
日本癌学会、日本癌治療学会  
大腸癌研究会遺伝性大腸癌(HNPCC・FAP)委員会委員  
近畿外科学会評議員  
日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員  
がん治療認定医、消化器がん外科治療認定医

兵庫医科大学下部消化管外科より赴任致しました。専門は大腸肛門の悪性腫瘍(癌)で、肛門温存手術(人工肛門をできるだけ作らない手術)・腹腔鏡手術に取り組んで参りましたが、直腸脱等の良性肛門疾患に対しても多くの手術を経験しています。遺伝性大腸癌については、長年にわたり臨床・研究において研鑽してきました。当院では消化器全般において、患者さんのためをモットーに貢献したいと考えていますので、宜しく御願い致します。



消化器内科

櫻井 淳 医師

日本内科学会認定内科医  
日本消化器内視鏡学会専門医  
日本消化器病学会専門医  
日本消化管学会胃腸科認定医・暫定専門医  
日本ヘリコバクター学会H.pylori(ピロリ菌)感染症専門医  
日本癌治療認定医機構がん治療認定医

平成28年4月より尼崎中央病院消化器内科で勤務させて頂くことになりました櫻井 淳と申します。これまで消化管疾患に対する診察および内視鏡検査・内視鏡治療を中心に経験を積んできました。現在、内視鏡検査・治療は進歩してきております。当院でも、今まで積んできた経験を生かして患者様の負担が少なく検査が受けれるよう、また、皆様のお役にたてるような治療を目指して精進したいと考えていますのでよろしくお願い致します。



消化器内科

藤村忠宏 医師

平成28年4月より兵庫医科大学病院消化管内科より赴任いたしました藤村忠宏と申します。消化器内科医として、上下部内視鏡検査および治療、ERCP(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)、消化器領域における悪性疾患に対する抗癌剤治療、その他様々な消化器領域疾患の診断・治療に携わって参りました。

尼崎中央病院でも、これらの検査・治療に従事しながら、さらに知識を深めて、少しでも患者様に還元できればと考えています。

まだまだ若輩者でご迷惑をかけることもあるかもしれませんが、少しでも患者様のためになるように精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。



整形外科

緒方正明 医師

平成28年4月より整形外科で勤務させて頂いております、緒方正明と申します。

研修医終了後、吹田市民病院や日生病院で外傷を中心に診察してまいりました。今後も外傷を中心に診察・治療をしていきたいと考えております。よろしくお願い致します。





# 甲状腺外来

毎月 第二月曜日 診察時間 14:00～

※他の月曜も診察を行う事がありますので、ご確認下さい



真嶋隆文 医師

みなさま、はじめまして。3月より甲状腺外来(毎月第二月曜日の午後)でお世話になっております真嶋隆文と申します。平成11年に京都大学を卒業後、隈病院等での勤務を経まして、このたび御縁を頂きまして着任致しました。

甲状腺疾患が疑われる患者様がいらっしゃいましたら、ご連絡頂けましたら幸いです。

少しでも病院の皆様、地域の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っております。

どうぞよろしくお願い致します。



## 内視鏡室



内視鏡室では、今年度より内視鏡検査室を2室にして並列で上部内視鏡検査ができるように準備を進めております。

現在、医師は消化器内科常勤医師4名、非常勤医師6名で、医師以外にも消化器内視鏡技師認定を取得したスタッフを中心に、内視鏡専任看護師4名で、安心安全の検査を提供できるよう努力しております。

2室とも、オリンパス社製のEVIS LUCER ELITEとフルハイビジョン対応のワイドモニターを使用。

スコープも最新のH290を2本に増やし、正確な診断および的確な治療方針の決定を心掛けております。また、総胆管結石に対して採石や砕石、EST(内視鏡的乳頭切開術)、ERBD(内視鏡的逆行性胆道ドレ

ナージ)などのERCP(内視鏡的逆行性胆道膵管造影)関連処置や早期胃癌に対するESD(粘膜下層切開剥離術)、大腸ESD等、内視鏡的治療にも積極的に取り組んでおります。

近年、大腸癌の増加とともに、大腸内視鏡検査を希望される方が増えています。

大腸内視鏡検査も最新鋭の機器で少しでも多くの検査・治療に対応できるようスタッフ一同努めていきます。



### 内視鏡検査件数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
上部内視鏡	1609	1796	1919
下部内視鏡	873	1082	1176

# 新入職員オリエンテーション



ようこそ  
尼中へ



今年も中央会では、4月に32名（うち医師4名）の新しい職員を迎えることができました。

本年度も接遇面に力を入れ、患者様・ご家族様に寄り添った医療を提供し、地域の皆さまに信頼していただける病院を目指して頑張っていきたいと思っています。



## 退院支援看護師



4月より退院支援看護師として医療相談室配属となった古谷です。

患者様、家族様をはじめ様々な機関と連携を取りながら入院された患者様が安心して退院できるようサポートしていきます。

退院支援看護師が2名となったことで今までよりも、より早期に、様々な相談に対応できるよう医療相談員と協力し日々努力していきたいと思っています。

病院と在宅、施設を「つなぐ」役割として頑張っていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひします。



## 学術大会開催



平成28年3月12日（土）に、第6回中央会学術大会が、関西国際大学尼崎キャンパスにて開催されました。

病院・ローランド等を含む、中央会全体の学術大会として181名が参加し、活気溢れる学術大会になりました。

13演題の発表が行われ、その中で薬剤部門の『転倒に対する薬剤の影響について』が、最優秀に当たって院長賞を受賞しました。





## JR福知山線脱線事故と阪神、東北の大震災

上記演題にて、今年4月20日に兵庫医大救急・災害医学講座、主任教授・救急救命センター長の小谷穰治先生にご講演いただきました。先生は4月16日に発生した熊本地震の救命チームDMATにおいても中心的な役割を担われており、現地で災害医療にあたられた直後にも関わらず、当院での講演に駆けつけて下さいました。

その内容として、災害の初期情報は不正確であるというお話が印象的でした。JR福知山線脱線事故では当初6両編成と伝わっていましたが、実際は7両編成で、1両目がビルにめり込んでいたことがあとになってわかり、救出に遅れが生じたそうです。東日本大震災では、当初原発は安全との報道でしたが、実際はメルトダウンまで生じていた事実もあったとのことでした。

また災害時の初期救護者は一般市民であり、市民が初期救護法を知る必要性を強調されました。その他、重傷者を見極めることの重要性や搬送時の注意点などについてご講演頂きました。

そして今回の熊本地震の現場を例に挙げ、災害時の支援物資がおにぎりやパンばかりに偏り、便秘が多発していることを強調されました。今後は植物繊維を含む飲料水や食糧の確保も必要だそうです。

今回、災害医療における生の貴重なご意見を頂き、職員の災害対策への意識を高めて頂きました。当院におきましても、これまで以上に災害対策マニュアルの整備や災害訓練に力を注いでいきたいと考えております。

尼崎中央病院 院長 伊福秀貴



『検査中、外来患者様が急に意識がなくなった』との想定で、急変対応のシミュレーションをしました。

当院で2回目の試みでしたが、救急コールの全館放送に始まり、看護師がただちに応援にかけつけ、多くの医師も到着し、蘇生が開始されました。シミュレーションを行なうことで、普段から準備しておくべきことに気付き、役割分担を誰がするのか、どのタイミングで患者様をどこへ移動するのかなど考える機会となりました。

アンケートでは、参加者全てから、また参加したいと回答があり次回も企画したいと考えています。



救急コール訓練



# 介護職員初任者研修

## ～受講生募集中～



日時：平成28年9月2日～平成29年2月10日  
通学コース（金・土曜日）  
定員：20名（少人数制）  
受講料：46,995円（テキスト代金含）  
会場：尼崎中央病院

★講師は現役職員  
実情を取り入れた指導を行います

★中央会の施設見学あり  
資格取得後中央会で一緒に働きましょう

お申込み・お問い合わせ  
介護職員養成研修係 06-6499-9268



## 尼崎市「小田北」地域包括支援センター

尼崎市「小田北」地域包括支援センターは、尼崎市にある地域包括支援センター12か所の内の一つとなります。尼崎市からの委託事業として、平成18年4月1日に開設し、丸10年を迎えました。業務としては、主に65歳以上の方の総合相談窓口として、様々な内容の相談を受けています。一番多いのは、介護保険サービスの利用についてです。認定の代行申請を行い、ケースによっては暫定利用されることもあります。認定結果が出れば、担当ケアマネジャーを紹介することも多くあります。

介護保険サービス利用以外では、債務整理や高齢者虐待対応、成年後見制度利用など、多岐にわたる相談を受けています。  
6名の職員一同、誠意をもって対応しますので、今後共よろしく願いいたします。

尼崎市潮江1丁目15-2-120  
☎ 06-6498-5111



## 中央会訪問看護ステーション

訪問看護ステーションは「住み慣れた在宅で、その人らしい暮らしの継続が出来る」をコンセプトに、ご自宅で療養されている、ご利用者様ご家族様を支援させて頂いております。“医療ニーズがある”“介護方法がわからない”“入退院を繰り返している”“家で看取りをしたい”“家でリハビリがしたい”等々、お困りごとをご相談下さい！

私たち訪問看護師、リハビリスタッフがご自宅にお伺いして、お手伝いさせていただきます！



“訪問看護ってどんなことをしてくれるの？”  
というご要望にもお答え出来るように、  
「居宅療養管理指導」も併設しております。  
どうぞご活用下さい！

尼崎市潮江3丁目1-8  
☎06-6499-8400

## ホームヘルパーステーションローランド

要支援・要介護及び障害区分を認定された介護が必要な方が、住み慣れた自宅で安心して生活が送れるように、介護福祉士の資格保有者や定められた必要な研修を修了したホームヘルパーが、ご自宅に訪問して食事や入浴・排泄などの身体介護や洗濯・掃除などの家事援助、その他日常生活全般にわたる援助を行い、自立支援を目指した介護サービスで自宅での生活を応援致します。



尼崎市潮江3丁目1-8  
☎06-6499-9207



# 健康講座

足の適切なケアについて

糖尿病と足病変



皮膚科 林 義明 医師



次回開催予告 14:00～15:00

- 8/20 (土) ・誰もが知りたい腰痛 藤井隆太郎 医師(整形外科)
- ・自分で出来る腰痛予防体操(リハビリスタッフ)
- 9月(日程未定)「救急の日イベント」 尼崎東消防署員

開催予定

- 10月 糖尿病合併症とその予防  
フットケア・透析予防
- 12月 インフルエンザ・肺炎の予防  
今日の予防と治療  
各種ワクチンの効果

どなたでも  
参加できます  
♪♪



日本医療機能評価機構認定病院  
社会医療法人 中央会



尼崎中央病院

〒661-0976 尼崎市潮江1丁目12番1号  
TEL 06-6499-3045 FAX 06-6497-3196

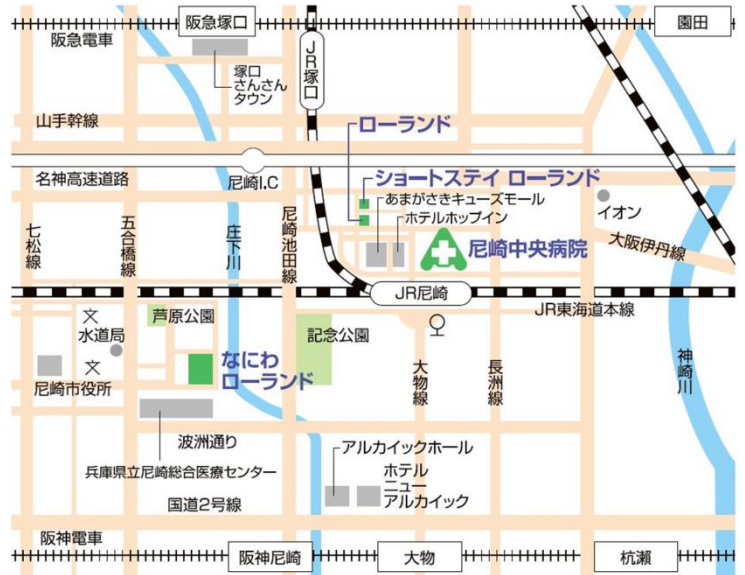
<http://www.chuokai.or.jp>

## ●認定医教育施設、教育関連施設

- 日本内科学会 日本血液学会 日本消化器病学会
- 日本消化器内視鏡学会 日本循環器学会
- 日本高血圧学会 日本糖尿病学会
- 日本外科学会 日本整形外科学会
- 日本麻酔科学会 日本眼科学会 日本大腸肛門学会

## ●関連施設

- ◇介護老人保健施設 ローランド
- ◇介護老人保健施設 なにわローランド
- ◇短期入所施設 ショートステイローランド
- ◇認知症対応型通所介護センター えがお
- ◇訪問看護ステーション
- ◇ホームヘルパーステーション ローランド
- ◇ケアプランセンター ローランド
- ◇ケアプランセンター なにわローランド
- ◇尼崎市「小田北」地域包括支援センター



地域医療連携室 担当者:小国・古藤

直通TEL 06-6499-3047 直通FAX 06-6497-3296